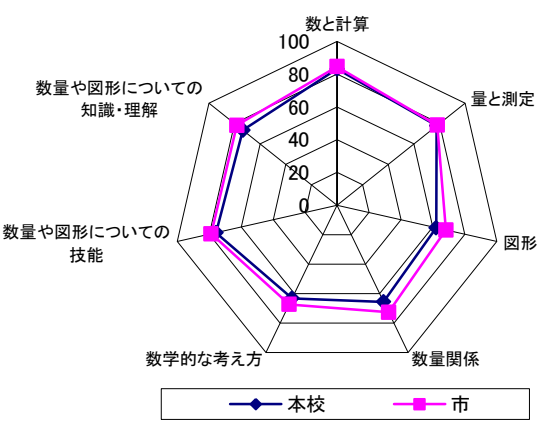


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	83.2	84.6
	量と測定	77.8	78.3
	図形	62.1	68.2
	数量関係	65.5	72.6
観点別	数学的な考え方	63.2	67.3
	数量や図形についての技能	75.7	78.9
	数量や図形についての知識・理解	73.4	78.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・平均正答率は、市の平均を1.4ポイント下回っている。ほとんどの問題について市の平均と同じか上回っているが、分数、小数、整数の乗除混合計算の正答率が75.9%で市の平均を8.7ポイント下回った。また、分数の除法の文章問題の正答率も低かった。	・分数の計算については、おおむね理解できている。分数、小数、整数の乗除混合計算については、復習の時間を設けるようにする。
量と測定	・平均正答率は、市の平均を若干下回っている。ほとんどの問題について市の平均と同じか上回っているが、円柱の体積を求める式を選ぶ問題の正答率が65.5%で市の平均を13.9ポイント下回った。	・量と測定については、おおむね理解できている。角柱の体積を求めたり展開図から円柱の体積を求めたりする問題の復習をし、習熟を図る。
図形	・平均正答率は、市の平均を6.1ポイント下回った。点対称な図形の問題や三角柱の展開図の問題は正答率9割程度と理解できており、市の平均も上回っているいるが、線対称な図形の問題や円の半径から円周を求める問題の正答率が5割を切っており、市の平均も下回っている。	・線対称な図形については、対象の軸で折ると重なることを押さえ、対応する点を見つけたり、実際に図形を描いたりするなどして、ていねいに確認する。円については、半径と直径、円周の関係を改めて確かめた上で、それぞれを求める問題などの練習をさせる。
数量関係	・平均正答率は、市の平均を7.1ポイント下回った。基礎的な内容の問題については、おおむねできているが、活用の内容の問題の正答率が低い。割合と比の問題が低い。	・比の性質や特徴などの基本を確認し、等しい比を求める問題や比を使って必要な量を求める問題などの練習に取り組ませることで習熟を図る。